

宇土雨乞い大太鼓の魅力

熊本県立宇土高等学校

要旨

国の重要有形民俗文化財に指定されている宇土雨乞い大太鼓の後継者が不足していることを知った。そのため宇土雨乞い大太鼓の後継者不足を止めるためには県内の大勢に宇土雨乞い大太鼓の存在を知ってもらうこと・魅力を伝えることが鍵になるのではないかと考えた。具体的には伝統芸能を伝承している方にお話を聞いて交流を行い、これから先どのように伝統文化を伝承していくかを考えたり宇土雨乞い大太鼓の魅力を伝えたりする。

●宇土雨乞い大太鼓の紹介



1. 目的

国の重要有形民俗文化財に指定されている宇土雨乞い大太鼓
→宇土市の大太鼓収蔵館
→館長の坂本さんにお話を聞く

宇土雨乞い大太鼓の後継者が**不足**

- ▶ 宇土雨乞い大太鼓の魅力を多くの人に伝える
伝統文化を伝承するには

2. 方法

- ①校外での演奏を利用し、宇土雨乞い大太鼓の紹介をする
- ②伝統芸能を伝承している方と交流をはかる

3. 結果

①部活動の一環で三菱ケミカルの事業所工場や宇土市運動公園グラウンドで行われた演奏の際に、研究や宇土雨乞い大太鼓についての紹介を行った。



②県内の伝統芸能を伝承している部活へインタビュー
方法: 一行一行お手紙を送った

(なぜ伝統芸能に関わるようになったのか)

- ・高校入学時に先輩の演奏や踊りを見て**感動、憧れた**
- ・**幼少期**から身近にあった

(どのように伝統芸能を継承していこうと考えているか)

- ・後輩や地域の方、県外の方に**披露**して魅力を伝える
- ・**自分が教える立場**になって踊りや魅力を伝承

4. 考察

宇土の人々にとって太鼓は身近なものではあるけれど、関わる機会が少ないという現状があるのではないかと考えた。

なぜなら...

太鼓を叩く体験事業などがあまり行われていない

- ▶部活動・地域の太鼓団体などに自ら所属していない限り太鼓と触れ合うことが難しい

太鼓と関わる機会が**少ない**

- ▶宇土雨乞い大太鼓の後継者不足につながっている！！

5. 結論

気軽に太鼓と触れ合う機会を設ける

- ▶たくさんの人に宇土雨乞い大太鼓の存在や魅力を知ってもらうことができる
- =後継者不足の改善・解決

6. 今後の展望

地元である熊本市内の別地域で演奏を行う

→宇土雨乞い大太鼓の魅力を広める

- ・下益城城南地域
- ・城山(じょうざん)地域

7. 感想

他校の和太鼓部や伝統文化を伝承している方にお話を聞いて改めて伝統文化の魅力を感じ、より多くの人に宇土雨乞い大太鼓をはじめとする伝統芸能やその魅力を知ってもらいたいと思った。少しでも多くの人に宇土雨乞い大太鼓の魅力を知ってもらえるようにこれからの研究も取り組んでいきたい。

8. 参考文献

- ・宇土市民会館ホームページ
- ・宇土市公式ウェブサイト
- ・宇土市公式ウェブサイト
- ・文化遺産オンライン
- ・宇土雨乞い大太鼓調査報告書

—協力高校—

- 熊本市立必由館高等学校和太鼓部
- 熊本県立天草拓心高等学校郷土芸能部
- 熊本県立牛深高等学校郷土芸能部
- 熊本県立熊本西高等学校西高太鼓部
- 熊本県立第一高等学校白梅太鼓



この研究を通して少しでも宇土雨乞い大太鼓に関心を持っていただけたら嬉しいです。